

平成25年度協働事業として選定された事業の評価

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて					事業実施段階					事業を振り返って			備考							
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画対等な立場を進めたか	④ 尊重したか	⑤ 十分に話し合いを回ったか	⑥ 進捗状況を共有できたか	⑦ 進捗状況を修正したか		⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	平均点	
1	議会事務局	声の市議会だより作成委託	4月～2月	委	84	音訳ボランティアグループ 福生いとでんわ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	4.8	CD作成枚数 13枚	
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	年5回発行の市議会だよりの内容を音訳し、視覚障害者1.2級の登録者にデジナー方式により音訳したCD版を送付し、議会情報の提供を行う。					課題	市内在住の視聴覚障害者の方への事業周知と利用拡大が課題。個人情報保護法の壁を越えて、市情報を障害者に届けるには、障害福祉課や秘書広報課等との連携、協力体制の充実を図ることが必要。														
2	総務課	平和祈念事業	5月～8月	実	220	平和のつどい企画委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.9	講演会208人参加	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	「市民が語る福生・語り継ぐ昭和」と題して、市民会館小ホールで実施。講演、座談会、演奏を行った。					課題	若年層の参加が少ない。														
3	国体推進室	第68回国民体育大会開催準備事業	4月～2月	実・補	61,836	スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	委員数 105名	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	平成25年に開催される国体に向けて設立した、「スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会」に補助金を交付し、効率的な開催準備を推進する。					課題															
4	安全安心まちづくり課	自主防災組織の運営	4月～3月	補	5,752	自主防災組織	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4.8	H25総合防災訓練は台風のため中止
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	34地区の自主防災組織に対し、組織の円滑な運営のために必要な補助金の交付を行い、災害時等の意識の高揚を図る。					課題	自主防災リーダー講習会 53人参加														
5	安全安心まちづくり課	避難誘導標識の設置と維持管理	4月～3月	委	0	NPO法人 都市環境標識協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4.9	市内設置数6基		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	避難誘導標識等の設置及び維持管理等を、民間企業等の地域貢献の協賛金などを活用することにより、市の費用負担なしで設置及び維持管理する。					課題	協賛金による新規設置を行うことができなかった。														
6	安全安心まちづくり課	交通安全推進指導	4月～3月	委	7,884	交通安全推進委員会、町会・自治会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全推進委員会委員 101人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市交通安全推進委員会、福生市町会長協議会へ交通安全の推進を委託し、更なる交通事故の減少を図る。					課題	交通安全講習会2回実施														
7	安全安心まちづくり課	各種防犯活動	4月～3月	補・参	1,184	防犯協会、ボランティア	実	他	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	3	5	5	3	5	4	5	5	4	4.3	防犯講習会 85人参加
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	防犯連絡所活動推進員及び女性防犯指導員による自転車防犯対策、各種防犯活動、防犯講習会の開催等を行う。					課題															
8	安全安心まちづくり課	自主防犯パトロール	4月～3月	参	0	町会・自治会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	4	3	4	3	5	4	4	4.3	34町会・自治会のうち32団体実施
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域の安全を守るため各町会・自治会での自主的なパトロールの実施。					課題															
9	安全安心まちづくり課	子ども110番の家	4月～3月	参	84	市民参加	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	3	4.7	登録者 1,023軒	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	子供が身の危険を感じたときに、助けを求めるとの出来る緊急避難場所として民家や商店等を指定し、子どもを犯罪から守る。					課題															

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	企=企画の段階から 実=実施段階から 他=その他	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑫	平均点
													Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4	4	4	4	5	4	4		4	
10	自由広場フリーマーケット	6月～3月	委	0	自由広場フリーマーケット実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	5	3	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4.1	全4回(6.9,12.3月) 3月は中止 出店者数 146店			
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	4	4		4	3.8	
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	自立した消費者の育成を図るため、市民及び民間団体を主体とした実行委員会に委託しフリーマーケットを年4回開催する。					課題														
11	消費者展・講演会・セミナー	4月～3月	委・実	122	消費者リーダー	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4.4	消費者セミナー 7回実施 参加者84人				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	4	4		4.6			
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	消費者の啓発を図るため、消費者リーダーとの協働で、消費者セミナー、消費者展等の企画・立案をし、当日の運営にあたった。					課題														
12	福生七夕まつり	8月	委・実	28,000	七夕まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4.1	人出 395,000人 ボランティア参加者 延べ約500人					
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4		4.3				
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	実行委員会のもと、飾りつけ部会、模擬店部会、イベント部会が中心となり、ボランティア・市民を巻き込んだ形で実施した。					課題														
13	ふっさ桜まつり	4月	補・実	3,120	桜まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4.8	人出 17,500人					
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	4		4.7				
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	桜の開花に合わせ、各種のイベント等を実施し、観光客の誘致を図り、商工業振興に寄与する。					課題														
14	ほたる祭	6月	補	1,400	熊牛町会ほたる祭実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	3	2	3	3	3	3	3	4	3	3.1	人出 35,000人					
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	3	3	4	4	3	3	4	4	5	3		3.6				
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	毎年6月中旬に行われる「ほたる祭」に対して、観光、地域振興を図るため、観光事業補助金を交付し支援を行う。					課題														
15	剪定枝等破砕機管理委託	4月～3月	委	35	グリーンクラブ福生	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	3	4.5	貸出し実績 4件				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	3		4.6			
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	剪定枝等破砕機の貸出し、整備、保守点検等を委託し、市内農業者の農業活動に役立てる。					課題														
16	市民農園管理	4月～3月	共	985	市民農園使用者協力会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4.4						
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4		4.3				
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	市内9箇所の市民農園を、2年間を期間として貸出し、運営を使用者の団体である協力会が行う。					課題														
17	市民エキストラ登録制度	4月～3月	参	0	市民エキストラ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	市民エキストラ登録人数132人					
						協働相手評価																####				
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	市民エキストラとして事前登録し、市内で行われるロケ撮影に市民ボランティアとして参加してもらう。					課題														
18	廃棄物減量等の推進	4月～3月	実	774	廃棄物減量等推進員	行政評価	Y	N	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	廃棄物減量等推進員会議 3回開催					
						協働相手評価	Y	N	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4.0				
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	廃棄物減量等推進員と協働して、廃棄物の減量を推進していく。					課題														
19	花いっぱい運動	4月～3月	委・参	667	ふっさ花とみどりの会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	3	5	4	4	5	4	4	3.9	会議等28回実施 参加者延べ250人				
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4.0			
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	街角、通学路、公園、広場等に、花の苗の植栽を行い、緑化と美化を進める配布型花いっぱい運動に加えて、やなぎ通り110箇所のプランター、国道16号線53箇所の植樹ますなどに植栽し、その管理運営を市民との協働で実施。					課題														
20	福生スクラムマイナス50%事業	4月～3月	実	0	福生スクラム・マイナス50%協議会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	4	3	4	4	4	4	3	3.7	緑のカーテンコンテスト 応募15組					
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4.0				
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	2030年までに、市内から排出される二酸化炭素を50%削減(2004年比)するという目標を達成するため、主に啓発事業を主催する。					課題														
21	かんきょう通信編集会議	4月～3月	参	0	かんきょう通信市民編集委員	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.9	年2回発行 各29,000部					
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	4		4.7				
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	市民への環境に対する意識啓発及び環境事業等のPR。					課題														

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	企=企画の段階から 実=実施段階から 他=その他	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑫	平均点
													Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえはできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえはできた	4:4	5:5	5:5	5:5	5:5	5:5	5:5		5:5	
22	環境フェスティバル委託	4月～3月	委・実・参	1,100	福生環境フェスティバル実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	4.8	出店団体数:40団体 来場者数4,200人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	4.9	
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		環境月間の6月に多摩川中央公園を会場に、環境意識の啓発、自然観察会等体験型プログラムを企画し開催。										課題			実行委員会、企画部会、運営部会のあり方について検討が必要。各部に人数が集まらず、委員への負担が大きい。					
23	水辺の楽校運営委託	4月～3月	委・実	1,400	水辺の楽校運営協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	多摩川で遊ぼう 12回実施 多摩川サポーターズ 3回実施			
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4		4.1		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに基づき、多摩川の水辺で子どもたちのための自然体験の場、遊び場を作る。										課題			参加する子どもの減少。年齢の低い子どもの増加に対して、対応が不十分。ジュニアスタッフの育成。					
24	市民環境大学運営委託	5月～2月	委	590	NPO法人自然環境アカデミー	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	6回実施			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.0		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		市民が環境問題を学習する機会として実施。毎年テーマを決める。										課題			継続して使える畑の確保。定員を上回る場合の対応。					
25	環境学習教員研修	8月	参	51	市民・NPO法人自然環境アカデミー	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	参加人数:新規採用教員対象14人、2年目教員対象13人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.0		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		新規教員及び2年目の教員を対象とした環境研修。福生の環境について学ぶことで、子どもたちへの環境学習を推進する。										課題			当日の流れの事前周知等。野外研修時に話が聞き取りにくい。					
26	環境マネジメントシステム市民監査委員	4月～3月	参	113	市民監査委員	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4.7	市民監査委員 8人参加		
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.1			
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		環境マネジメントシステム LAS-E の運用状況について、市民が直接各職場に立ち入って監査を実施する。										課題			職場の事業実態に合わせた数値目標の設定					
27	地域猫制度	4月～3月	補・共	702	福生地域ネコの会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	3	4	4	4	5	3	4	4	4.1	去勢・不妊手術実績 10地区 80頭		
						協働相手評価	Y	Y	Y	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.3			
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		地域、ボランティア団体、行政の協働で、飼い主のいない猫対策を実施。										課題			制度について、地域住民の理解、協力、同意が得られにくかった。モデル地区の増加、会員やボランティア、サポーターの増員。					
28	湧水調査	4月～3月	参	0	法政大学山崎ゼミナール	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4.4	月1回実施。湧水6地点において調査実施。			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	5	5	4	5	4	4	4	4	4		4.4		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		福生に残された湧水を保全し活用するため、調査を行う。										課題			メンバーが学生のため、ほぼ土、日曜日の実施となってしまう。春・夏・冬休み時期の平日実施を検討する。					
29	男女共同参画情報誌作成	4月～3月	委・参	1,204	NPO法人NAFA子育て環境支援センター・市民編集員	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	3回発行 各回28,500部			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		4.9		
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援団体の特性を活かす				事業の概要		男女共同参画情報誌「あなたとわたし」を市、市民編集員、NPO法人との協働により作成。										課題			原稿の確認などの情報共有が必要。編集員が少数のため一人の負担が多くなってしまふ。					
30	男女共同参画啓発物作成	4月～3月	参	0	市民活動団体	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	成人式でのチラシ配布 427人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.0		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		デートDVを若い世代に理解してもらうため、市民活動団体との協働により、チラシを作成し、新成人への配布や公共施設で配布し啓発を図る。										課題			次年度の成人式に向け内容の再確認をしたい。					
31	福東会館管理業務委託	4月～3月	委	2,957	福東町会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	開館日数 年間300日 利用状況 1,052件 12,058人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.0		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		地域会館として利用される福東会館の管理を地域の町会に委託して行う。										課題								
32	福東会館清掃委託	4月～3月	委	260	NPO法人 青少年自立援助センター	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0				
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	4	5	4	3	5	4	5	4	5		4.3		
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要		地域会館として利用される福東会館の清掃管理をひきこりの青年を支援するNPO法人に委託して行う。										課題								
33	市民活動推進事業委託	7月～3月	委	200	ドイツ平和村をサポートする会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	講演会、ワークショップを開催 参加者 延べ71人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5.0		
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要		市民活動団体を育成するため、柔軟な発想や豊富な経験に基づく提案を求め、輝きサポートセンターで事業の企画・実施する事業を委託する。										課題			応募団体が無い年度があり、制度の見直しが必要。					
34	地域コミュニティ活性化の推進	4月～3月	補	750	福生市町会長協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8				
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要		町会長協議会と協働で、市民全体を対象に、町会・自治会加入促進運動やあいさつ運動を展開することにより、地域との連携を深め、地域コミュニティの活性化を図る。										課題			町会・自治会への加入率向上のため、様々なイベント等に参加し加入促進の活動を行っているが、実績に結び付かず、年々減少してしまっている。					

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点	
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえればできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえればできた	4	5	4	5	4	5	4	5			
35	障害福祉課	心身障害者一時保護施設運営費等補助金	4月～3月	補	873	福生市手をつなぐ親の会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.6	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	在宅の心身障害者の夜間における一時保護及び社会的自立に向けた訓練等の運営費の一部を補助することにより、心身障害者福祉の推進を図る。		課題																		
36	障害福祉課	各種団体補助金	4月～3月	補	238	福生市手をつなぐ親の会 福生市身体障害者福祉協会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.3	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	知的障害者、身体障害者及びその家族で構成されている会に対し、その運営費(各種行事、研修等)の一部を補助することにより、障害者の社会参加を促進する。		課題																		
37	障害福祉課	精神障害者グループホーム補助金	4月～3月	補	1,956	NPO法人グループホームけやき	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.4		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	NPO法人グループホームけやきに対し、その運営費の一部を補助することにより、精神障害者の地域社会における生活の場を確保し、自立と社会参加を促進する。		課題																		
38	障害福祉課	障害者地域自立支援協議会	4月～3月	実	46	障害者(児)関連団体	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	協議会 6回開催
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	障害者(児)が地域における自立した生活や社会生活が営めるよう地域での福祉に関する課題等につき、連絡調整・対応策等の検討を含め障害福祉のネットワークを推進する。		課題	地域が抱えている問題をあげる体制は3年間の協議会の中でできてきており、今後は検討課題として自立支援協議会からあげられた意見を、各計画に反映していく取り組みが必要。																	
39	介護福祉課	ボランティアまちづくり事業	4月～3月	補	10,907	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	4	4	5	5	5	4	4.5	登録団体数:164団体、登録者数:5,407人
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	社会福祉協議会が行っている「ふっさボランティア・市民活動センター」の運営に必要な経費を補助し、福祉の分野におけるボランティア活動の拡大を図る。		課題																		
40	介護福祉課	敬老大会ボランティア	9月	参	0	市民参加	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4.8	敬老大会 来場者数:約1,000人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民会館大ホールで行われる敬老大会の会場整理等を公募によるボランティアをお願いしている。		課題	公募ボランティア:2名																	
41	介護福祉課	地域福祉推進事業	4月～3月	補	5,738	NPO法人ケアサービスいずみ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	5	5	4	4	4	5	4	5	4.4	有償家事援助サービス 1,041件 1,349時間、移送サービス 269件 3,326km
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	NPO法人が実施する高齢者等に対する家事援助事業及び移送事業等の福祉サービスに対し、財政支援をし在宅サービスの確保を図る。		課題	登録会員の増員。																	
42	介護福祉課	在宅福祉活動ボランティア	4月～3月	補	864	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	利用者数 200人 利用回数 200回、運転ボランティア 209人、走行距離 3,939km
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	運転ボランティアが運転するリフトカーにより、歩行困難な高齢者等に社会参加や地域とのふれあい事業の参加の機会を確保する。		課題	運転ボランティアの高齢化																	
43	介護福祉課	介護サポーター事業	4月～3月	参	380	市民ボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	5	4	4	4	3	4	4.3	登録者数 16人 交付給付者数 6人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の介護施設等で介護サポーター活動をしていただき、1年後にポイントに応じて交付金を給付する。		課題	介護サポーター登録者の増員。																	
44	健康課	健康ふっさ21事業	4月～3月	参	549	健康づくり推進員	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4.5	推進員登録者数103名	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市健康づくりプラン「健康ふっさ21」に基づき、市民の健康づくりの活動、啓発活動等を行う。		課題	全員が活発に活動している状態ではないため、推進員全員での健康づくりの目標の共有化が図りづらい。																	
45	健康課	健康まつり	10月	参	2,526	各種団体	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4.1	8月、10月に打合せ会を開催。当日は台風の影響で中止	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民の健康に対する意識の向上等を目的に、産業祭や文化祭と連携して「福生ふれあいフェスティバル」として実施。		課題	野外で実施するため天候に影響されてしまう。例年の天候状況を鑑みて日程調整を行う。																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点	
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえはできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえはできた	10:お互いの信頼関係を築けたか	11:事業の目的・目標を達成できたか	12:課題と改善策を話し合ったか								
46	子ども育成課	赤ちゃんはじめての絵本事業	8月～3月	参	548	図書館ボランティア	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	8月より毎月1回、計8回。310人に絵本の贈呈。
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	3～4か月児健康診査時の際、絵本を贈呈し地域のボランティアによる読み聞かせを行う。		課題	読み聞かせを、健康診査の合間に行っているが、落ち着いた部屋で行えると良い。																	
47	子ども育成課	児童館管理運営事業	4月～3月	委	95,989	NPO法人ワーカーズコープ	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	児童館利用者数 武蔵野台児童館 27,668人 田園児童館 23,177人 熊川児童館 26,332人	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	遊びなどを通して仲間づくりや活動、子育て拠点の場として、幼児の遊びや母親等に交流の場を提供する。中・高校生などの活動の支援等、居場所づくりの取組み		課題	災害時等の対応として、地域との連携、保護者との連携の体制作り。利用者の減少。																	
48	子ども育成課	学童クラブ事業	4月～3月	委	33,662	NPO法人ワーカーズコープ	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	登録児童数 455人 育成日数 294日	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	保護者の就労等で放課後、家庭で適切な保育を受けられない小学1年生から4年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供する。		課題	学童クラブの利用者の減少。																	
49	子育て支援課	保育団体連絡会の開催	4月～3月	共	0	社会福祉協議会、保育園、幼稚園、子育てサークル、子育てボランティア団体	企 行 他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.9	定例会2回実施	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域組織化事業の一環として、各団体の情報交換や支援方法の検討を定例会(2回実施)で行う。		課題	保育団体連絡会の思いと市民のニーズが合致すること。																	
50	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業	4月～3月	参	3,024	社会福祉協議会、市民	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	5	5	5	4	4	4	4	4.6	依頼会員 57人 提供会員 38人 両方会員4人 活動実績 459回	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域において育児の支援をしてほしい方(依頼会員)と、育児の援助をしたい方(提供会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育て(育児に関する相互援助活動)をする会員組織。ファミリー・サポート・センターには相互援助活動の調整をするアドバイザーを配置している。		課題	平成25年10月からの事業開始のため、ニーズの掘り起こしがまだ十分とは言えない。																	
51	まちづくり計画課	景観づくりの取組み	4月～3月	共	0	まちづくり景観推進連絡会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4.3	推進連絡会 毎月1回開催	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	まちづくり景観推進連絡会と市が協働して、福生市全体の景観まちづくりを考え、歴史ある景観を保全する。		課題	会議の出席率があがらず、出席メンバーが固定されている。																	
52	施設課	屋外違反広告物撤去	4月～3月	参	0	町会、市民団体	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	20団体 138人登録 撤去枚数438枚	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路上の屋外違反広告物の撤去作業を、市民と市が協働で活動することにより、市道の適正な管理に努めていく。		課題	ボランティアメンバーの道路作業上に於ける交通安全確保が懸念される。継続したメンバーの育成を考えていく。																	
53	施設課	道路美化ボランティア	4月～3月	参	0	市民団体	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	18団体 373人のボランティア会員	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路への美観風致を維持し、歩行空間の確保及び良好な維持・向上を図るため、市民と市が協働で活動し、市道の適正な管理に努める。		課題	ボランティアの道路内作業に於ける交通安全上の問題が危惧される。継続したメンバーの育成を考えていく。																	
54	施設課	萌芽会活動	4月～3月	参	0	福生萌芽会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	毎月第2日曜日に活動 会員数30人 参加者数 延べ178人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市内の豊かな生態系の雑木林の再生を目指して、ワークショップ方式による市民参加型のボランティアにより、萌芽更新を実施する。		課題	萌芽会ボランティアメンバーの世代交代、萌芽更新継承者の開拓。																	
55	施設課	公園ボランティア制度	4月～3月	参	0	ボランティア	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	347人、8団体登録	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公園ボランティアが行う公園内の環境美化活動を推進する。		課題	活動日を月曜日にしたことで、若い方の参加ができないため、今後土曜、日曜日の設定が必要。																	
56	施設課	花いっぱい運動	4月～3月	参	0	ボランティア	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4.3	年1回実施 参加者7人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公園ボランティアに登録している団体及び個人が多摩川中央公園において花植え作業を行う。		課題	参加者が減少傾向にある。																	
57	施設課	ほたる公園管理委託	4月～3月	委	966	福生ホテル研究会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3.3	水質・水温管理(365日) 流れ清掃(年6回)	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	ほたる公園ドーム内、水質・水温調査、ドーム内外流れ清掃、調査観察等の業務を行う。		課題	市のバックアップ的要素が大きな割合を占めている。																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考				
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 面対等な立場を進められたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況をチェックし、必要に応じて修正したか	⑧ 常にコミュニケーションを取ったか	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点			
																										行政評価	Y	Y
58	選挙管理委員会事務局	選挙啓発誌「白ばら」企画編集	8月～11月	共	375	福生市明るい選挙推進協議会	他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	発行回数年1回、編集会議3回 配布枚数 28,783枚
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	年度中における選挙終了後、啓発誌「白バラ」を年一回発行する。		課題																				
59	選挙管理委員会事務局	投票啓発	4月～3月	共	234	福生市明るい選挙推進協議会	他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	各選挙啓発 8回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	成人式会場での常時啓発と、駅頭等やのぼり旗の掲出及び市内全域を広報車による選挙時啓発を実施。		課題																				
60	教育委員会庶務課	校舎・校庭の軽易な修繕	4月～3月	参	86	PTA・市民	他	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4.2	児童・生徒155人 保護者42人 市民5人 教職員11人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域清掃活動・校内美化、施設の修繕を実施し、教育環境の向上を図るとともに、児童・生徒に物の大切さを教える。		課題																				
61	指導室	学習指導市民講師	4月～3月	委	198	市民、NPO	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3.9	実施回数 66回、登録者数 27人		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域の人材を活用した学習指導講師		課題	現在、小学校においては総合的な学習の時間を中心に、中学校においては教科・課外学習で活用している。新学習指導要領の改定により、授業時間数が増えるので、各学校での有効な活用方法の検討が必要となる。																			
62	指導室	アドバイザースタッフ	4月～3月	委	153	市民・大学生(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	4	4	3	4	4	3	4	3	3.6	実施回数 153回、登録者数 8人			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	教育相談室、学校及び家庭における生徒等に対する話し相手、遊び相手としての援助、その他教育相談のために必要なことを行う。		課題	協働相手が個人のため、全体の計画を共通理解・認識して事業展開を図ることが難しい。																			
63	生涯学習推進課	学校ボランティア	4月～3月	参	0	地域の市民、保護者	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	3	3	4	4	4	5	4	4	4	3.9				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	学校支援のために、様々なボランティア活動をして、地域に根付いた学校づくりを進める。		課題	各学校で異なる事業でボランティアを活用しているため、事業効果を定量的に評価することが難しい。																			
64	生涯学習推進課	成人式の開催	9月～1月	実・参	1,177	成人式実行委員会 市民ボランティア	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	新成人実行委員 6人 実行委員会 8回		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	「成人式式典」及び「成人のつどい」を、教育委員会と新成人による成人式実行委員会、市民ボランティアとの協働により実施する。		課題	実行委員で実際に動ける委員が限られてしまうため、一人ひとりの負担が大きかった。																			
65	生涯学習推進課	ふっさっ子の広場事業	4月～3月	参	54,705	ふっさっ子の広場サポーター	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	サポーター登録(7校)471人 サポーター参加者数 1,093人		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	放課後、学校施設を活用し、安全な見守りのもとで、子どもたち同士や地域の人たちとの交流を通じ児童の健全育成を図る。		課題	各学校の「ふっさっ子の広場」で、ボランティアに来てくれる人数・内容に差がある。																			
66	生涯学習推進課	地域まなびあいボランティア	4月～3月	参	4	地域まなびあいボランティア登録者	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	3	3.7	登録者 21人(団体含む) 利用実績 27件			
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域で行事を計画している方、または町会・自治会・子ども会等地域で活動している団体に、教育委員会に登録している講師や指導員を派遣する。		課題	ボランティアの高齢化に伴い、継続的な活動が厳しくなっている。																			
67	生涯学習推進課	ふっさ輝きフェスティバルの開催	5月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4.7	会議:理事会4回 全体会6回、関係者参加 状況:前日準備40人 当日450人		
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。		課題	エリアが砂利敷きの場所のため風や人の移動で埃が舞ってしまうため、対策が必要。																			
68	生涯学習推進課	軽スポーツ・とん汁会の開催	9月～11月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	会議:理事会4回 全体会4回、関係者参加 状況:前日準備38人 当日362人		
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、11月の第3日曜日に多摩川中央公園にてイベントを開催する。		課題	とん汁にお客が集まり、待たせることが多くなってしまった。																			
69	生涯学習推進課	青少年海外派遣事業派遣生事前研修	6月～7月	参	7,990	地域まなびあいボランティア登録者	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	練習3回(1回3時間) 海外派遣生12名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	海外派遣事業でアメリカに行った際に、相互の文化交流の一環として、日本の文化紹介のために踊りを披露する。そのための練習を行うに当たり指導いただく。		課題	派遣生にとって踊りのなじみがないのか、うまく踊れない人が出てしまった。																			

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考			
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点		
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえればできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえればできた	4:5	5	5	5	5	5	5	5			5	
70	生涯学習推進課	学校支援地域組織事業	4月～3月	参	3,610	学校支援サポーター	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	サポーター数 387人
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	各学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校と支援者である学校支援サポーターとの連絡調整をして、学校のニーズと地域の力をつなぎ合わせコーディネートしていく。										課題	学校支援地域組織事業への理解が得られるよう周知を続ける。										
71	スポーツ振興課	市民総合体育大会運営	4月～3月	委	1,684	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	30種目 5,479人参加
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民総合体育大会の各競技大会運営並びに関連する事務を福生市体育協会に委託し開催する。										課題											
72	スポーツ振興課	芝生管理業務	4月～3月	参	0	南公園グランド使用団体	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	南公園グランド内の芝生を使用者からの申し出により、使用者自らが芝刈りを行う。										課題											
73	スポーツ振興課	ウォーキング事業	4月～3月	参	60	福生ウォーキング・タートルズ	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回実施 参加者 各回合計 122人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	春・秋・新春ウォーキングの企画立案並びに実施・運営を市内ウォーキングサークル「福生ウォーキングタートルズ」との協働により実施する。										課題											
74	スポーツ振興課	中央体育館の運営	4月～3月	委	29,008	NPO法人 福生市体育協会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	実施事業数 36事業 全1,344回 延べ利用者数 121,050人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	中央体育館の受付業務、館内巡回、事業等、管理運営を委託する。										課題											
75	スポーツ振興課	各種大会派遣	4月～1月	委	607	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	3大会18種目 245人派遣
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	都民体育大会ほか開催時の選手派遣及びそれに伴う業務全般を委託する。										課題											
76	スポーツ振興課	福東グランドトイレ清掃	4月～3月	参	0	福東グランド使用団体	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	福東第一・第二少年野球場に併設しているトイレを利用団体の申し入れにより、使用者自らが清掃を行う。										課題											
77	スポーツ振興課	ジュニアスポーツ体験・育成事業	4月～3月	委	2,094	NPO法人 福生市体育協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	5教室実施 参加者総数 延べ1,685人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	就学前児童及び小学生を対象に様々なスポーツの体験を通じ、基礎運動能力の育成及びスポーツを好きになる子どもの育成を目的に教室を開催する。										課題											
78	スポーツ振興課	生活習慣病予防事業	4月～3月	委	1,125	NPO法人 福生市体育協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	3教室実施 参加者総数 延べ593人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	ウォーキング、筋力トレーニングなどの運動を通じ、自らが予防対策を講じられることを目的に年代別健康体力づくり教室を実施する。										課題											
79	公民館	本館利用者研修会	10月～3月	共	20	公民館本館利用者連絡会	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	3	4	5	4	4	4	4.0	実行委員会3回実施 研修会 参加者 35人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	社会教育や公民館についての理解を深めるため、研修会を実施する。										課題	事業は滞りなく実施したが、一部準備不足があった。										
80	公民館	市民文化教室	7月～12月	共	280	福生市文化協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.6	全8コース 参加者人数 773人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	初心者を対象に市民文化教室を開催し、日本の伝統文化、伝統芸能にふれ、理解を深めていく。										課題	10コースを予定していたが、定員に達しないため2コースが中止となった。										
81	公民館	公民館講座等学級教室講座講師	2月	共	10	地域福祉学習会ハートフル	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	地域福祉講座 2回実施 参加 延べ25人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	公民館サークルとの共催事業として孤独死をテーマにして福祉講座を実施し、地域福祉の現状や課題について学習した。										課題	実施回数の検討。										

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえどできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえどできなかった	4	5	4	5	5	4	5	4		
82	公民館	公民館のつどい	4月～12月	実	50	公民館のつどい実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	4	4	4.6	準備・実行委員会 8回 延べ130人参加
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	①出会い、知り合い、交流していくために、分野を越えた交流の場にする。②公民館で活動することの意味を考える。③活動し、交流しあう中で、生活や地域の課題を考える。④つどいが、ひとつのきっかけとなって、後に横につながりあえる場を持ち続ける。以上4つの趣旨のもと、3館合同で実施。										課題	役員だけでなく一般利用者にも、積極的に参加してもらいたい。								
83	公民館	本館まつり	4月～7月	実	303	本館まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5	5	4	5	4.7	参加者人数 2,230人
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公民館が事務局となり、日頃の公民館活動の発表やサークル間の交流を目標に本館まつりを実施。										課題	参加する団体には実行委員会に必ず参加してもらいたい。								
84	公民館	第32回市民音楽祭	6月	共	857	福生市音楽愛好者連絡会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9	来場者920人、出演者309人
		協働理由	市民団体の特性を生かす		事業の概要	福生市音楽愛好者連絡会と公民館が共催で市民音楽祭を実施。										課題	参加団体及び来場者を増やす。								
85	公民館	市民文化祭の開催	4月～12月	実	3,771	福生市文化祭実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.9	参加団体数 214 来場者数 16,500人
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	市内で行われている文化活動の成果を発表する機会を提供し、市民文化の向上と、潤いのある市民生活の実現に寄与する。										課題									
86	公民館	男女共同参画フォーラム	6月～3月	実	97	男女共同参画フォーラム実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4.6	実行委員会 12回 フォーラム参加者 29人
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	男女共同参画意識を高めることを目的として、身近な題材で参加者とともに男女共同参画社会を考える機会とする。										課題	全員が参加できる会議の日程を調整することが困難。								
87	図書館	図書館おはなし会「ぶっくん」	4月～6月	共	0	おはなしのもり	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	全小学校で1回実施 20人参加
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子どもたちが本に親しみ、読書の普及を図るため、小学校へ訪問し1年生を対象に「お話し会」「お楽しみ会」をボランティアと協働で実施。										課題									
88	図書館	主催事業(お話し会・お楽しみ会)	4月～3月	共	0	ポケット☆ポケット、おはなしのもり、おかし座	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	おはなし会実施回数 77回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	月1回開催している「小学生・乳幼児向けおはなし会」や影絵劇などをボランティアグループ、影絵サークルとの協働で実施している。										課題	新規ボランティアの拡充。								
89	図書館	図書の配架、館外美化	4月～3月	参	0	市民個人ボランティア	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	書架整理 85回 花植え2回
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民の図書館を目指し、より開かれた図書館を実現するパートナーとして図書館業務の補助、館外美化活動を実施する。										課題									
90	図書館	ヤングアダルト図書会議	4月～3月	参	0	中高生	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回発行 13人登録
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の中学生、高校生ボランティアの編集により、PR新聞を発行し、市内の各図書館、各中学校図書室等で配布する。										課題	編集スタッフの募集に苦慮している。								
91	図書館	学校図書館支援サービス	4月～3月	参	0	学校司書	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	学校図書館運営マニュアルを作成 9月より学校司書を配置(2校に1人)
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	指導室と連携し、学校司書の拠点を中央図書館内に設置し、研修・打合せ等を実施する。また、市立図書館電算システムと連携し、蔵書の一体管理を図る。										課題	物流の仕組みが整っていない。								
92	図書館	子ども家庭支援センターでのおはなし会	4月～3月	共	0	お話しボランティア「ポケット☆ポケット」	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	月1回実施 参加者総数 214人
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	親子のスキンシップのひとつとして絵本の素晴らしさを知ってもらうため、子ども家庭センターで絵本・紙芝居のよみかかせや手遊びを行う。										課題									